乳腺科臨床研修プログラム

【指導医】

橋本 幸直（乳腺科部長）：日本乳癌学会 乳腺専門医、日本外科学会 外科専門医・指導医、日本消化器外科学会 認定登録医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構 暫定教育医、日本臨床腫瘍学会 暫定指導医、検診マンモグラフィ読影認定医、島根大学医学部臨床教授、緩和ケア研修会修了

武田 啓志（乳腺科医長）：日本外科学会 外科専門医、日本乳癌学会 認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、緩和ケア研修会修了

高村 通生（乳腺科医長）：日本外科学会 外科専門医、日本乳癌学会 認定医、日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、がんのリハビリテーション研修終了、島根大学医学部臨床教授、緩和ケア研修会修了

【上級医】

渡部 可那子（乳腺科医長）：緩和ケア研修会修了

【期間】 4 週

【一般目標 GIO】

乳腺疾患に関連した診断・治療の基礎知識および基礎的臨床能力を身に着ける。医療人として必要な人格、態度を身につけるとともに、コメディカルとともにチーム医療を実施する。また、基本的な乳腺疾患に関する処置を実施できるようにする。

【行動目標 SBOs】

1. 乳腺疾患の診断に必要な基礎的事項（乳腺の解剖・生理など）を理解し説明できる。
2. 乳腺疾患（悪性腫瘍、良性腫瘍、乳腺炎など）の病態を理解し、診断・治療の基本的考え方を説明できる。
3. 問診、診察による乳腺疾患の診断・治療に必要な情報収集ができる。
4. 乳腺疾患の診療に関する検査（マンモグラフィ、エコー、CT、MRI、FDG-PET など）をオーダーでき、その理解と評価ができる。
5. 乳腺悪性腫瘍（主に乳癌）に対する病期やサブタイプを診断し、個々の病状に応じた治療計画を立てることができる。
6. 手術に参加し、その内容を理解し、基本的手技（糸結び、皮膚縫合など）を指導医のもとで行うことができる。

7. 周術期の管理（輸液、ドレーンの管理・抜去、理学療法、術後の創処置など）を指導医のもとで行うことができる。
8. 乳癌に対する放射線治療・化学療法・内分泌療法の治療ガイドラインを理解し、治療方針を立てることができる。
9. 医師、看護師、検査技師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどの医療チームの役割分担を理解し、患者個々に応じたチーム医療を実施できる。
10. 指導医の病状説明に際し、患者・家族の心情に配慮しつつ、立ち合い、説明内容を記録できる。

【方略 LS】

- 受け持ち患者数：3～5名程度
- 研修の場：手術室、一般病棟、一般外来
- 手術研修
 - (ア) 手術室での清潔操作、消毒法を理解する。
 - (イ) 手術助手として参加し、糸結び、皮膚縫合などを経験する。
- 病棟研修
 - (ア) 術前・術後患者の状態把握と対応について、入院患者の毎日の診療場面を通じて、指導医とともに経験する。
 - (イ) 周術期の管理（輸液、ドレーンの管理・抜去、理学療法、術後の創処置など）を指導医・上級医とともに経験する。
- 外来研修
 - (ア) 乳腺疾患の診療を指導医・上級医とともに経験する。
 - (イ) 乳腺疾患の診療に関する検査（マンモグラフィ、エコー、CT、MRI、FDG-PETなど）の評価を経験する。
- カンファレンスなど
 1. 毎木曜日 15：45ー 外来カンファレンス（外来）
術前や再発治療中患者の評価・治療方針をプレゼンし、議論に参加する。
 2. 毎木曜日 16：30ー 病棟カンファレンス（病棟）
術後や終末期患者などの全入院患者について、医師・看護師・MSW間の情報交換・共有を行う。
 3. 乳腺カンファレンス（1回/2-3か月、日時は事前に連絡）
乳腺科・病理組織診断科・放射線科医師、検査技師（マンモグラフィ、エコー、病理）が合同で乳癌患者について診断過程等を議論する。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	病棟・外来	手術	手術	手術	病棟・外来
午後	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟

【評価 Ev】

1. 研修医による評価

(ア) 自己評価：PG-EPOC（EPOC2）を用いて自己評価を行う。

(イ) プログラム評価：PG-EPOC（EPOC2）を用いて診療科（指導内容・研修環境）の評価を行う。

(ウ) 指導医の評価：評価票を用いて指導医・上級医の評価を行う。

(エ) 指導者の評価：評価票を用いて主として患者が入院している病棟で指導者に任命されている看護師、病棟担当薬剤師、検査技師の評価を行う。

2. 指導医による評価

(ア) 研修医の評価：PG-EPOC（EPOC2）を用いて行う。

(イ) 自己評価：評価票を用いて自己評価を行う。

(ウ) プログラム評価：評価票を用いて乳腺科のプログラムの評価、病院全体のプログラムの評価を行う。

(エ) 指導者の評価：評価票を用いて病棟で指導者に任命されている看護師、病棟担当薬剤師、検査技師の評価を行う。

3. 指導者による評価

(ア) 研修医の評価：評価票を用いて行う。

(イ) 自己評価：評価票を用いて自己評価を行う。

(ウ) 指導医の評価：評価票を用いて自己評価を行う。